

<h1>出張報告書</h1>	幹 事 長 印	経 理 責 任 者 印

平成 30 年 5 月 24 日

幹事長  
江川 慶子 殿

出張者氏名 坂上巳生男 印  
                  鱧谷 陽子 印  
                  江川 慶子 印

下記のとおり報告します。

1. 出張先           コンパクトタウンサミット 田尻

2. 出張日時       平成 30 年 5 月 22 日

3. 出張用務（宿泊を要する場合はその事由）  
    全国から 20 平方キロ以下の町村が集まり問題点を話し合う。

4. 旅 費  
    参加費     12000 円（一人 4000 円）

---

5. 報 告  
    ...今回は田尻町で行われた為参加しました。感想は各自報告します。...

---

**2018 第 8 回全国コンパクトタウン議会サミット in 田尻町**

主催：第 8 回全国コンパクトタウン議会サミット実行委員会

共催：大阪府南部議長会（忠岡町・熊取町・岬町）

開催日 2018 年 5 月 22 日（火）

会場 大阪府田尻町総合保健福祉センター

受講料 4,000 円

コンパクトタウン議会サミットの受付のお手伝いの依頼を受け今回初めて参加しました。

面積要件 20 k m<sup>2</sup>以下の町村が集い「小さくでもキラリと光り頑張るまち」を目指し議論、交流しているとのこと。唐突なお誘いと田尻町議会が主になって動いておられていて、受け入れ議会は大変だと思いました。

基調報告では、「観光で輝くまちづくり」をテーマに講師は、元観光大学教授の中尾清氏がお話しされました。地域観光を見つける手立てなどお話しされ、一番私の心に残ったのは、「住民がいつまでも住み続けたいと思える町が、観光で行ってみたい町となる」という点です。基調報告後は、「ワールドカフェ」という交流が行われ、参加した熊取町議全員がグループになり熊取の観光名所や物を一覧表に書き上げました。その後、1 人だけ残り、他のグループに分かれました。別れた後、他行政区の方から質問を受け答えるところから交流が始まりました。意外な発見などは特にありませんでしたが、熊取の魅力を語り、水ナスやじゃこごうこの話、原子炉実験所の B N C T の話などもりあがり、「熊取図書館には見学したい」ともおっしゃっていただきました。

今回予定していなかった参加でありましたが、香川県の宇多津町・徳島県北島町の議員の皆さんと交流できました。特に北島町はベッタウンで人口が増えているとのことでした。

## ＜コンパクトタウン議会サミットに参加して＞

坂上巳生男

2018. 5月22日 田尻町ふれ愛センターにて

平成21年に香川県宇多津町議会の発案から始まった、コンパクトタウン議会の交流と研修の場であるこの「サミット」も第8回、熊取町議会は初めての参加で12名。

### 1. 第1部 中尾清氏（大阪観光大学名誉教授）の基調講演

「観光で輝くまちづくり」というテーマで中尾清氏のお話を聞かせて頂いた。外国人観光客の増加や民泊の現状（問題点）、観光立国の条件などを説明されたのち、全国各地の様々な取り組み事例を紹介していただいた。

コウノトリと共生するまちづくり（豊岡市）、古民家を活用した丹波篠山の丸山集落、安芸市入河内地区のまちと村の交流、泉南市の一人から始まった「ふじ祭」など、様々な事例をくわしく説明頂いた。それぞれの自治体が、もてる資源を生かして、「観光でまちづくり」（まちづくりで観光）に取り組んでいる様子がよくわかった。しかし、熊取町で何ができるのかを考えると、「簡単ではないな」という印象が残った。

### 2. 第2部 ワールドカフェ（グループセッション）

参加自治体議員が6, 7人ずつのグループに分かれて（シャッフルで）、各自治体の観光資源はどんなものがあるか、それをどのようにうまく生かすかをトークセッション。私は、議長会議に参加したため、このワールドカフェの企画には最後の5分ぐらいしか参加できなかったが、参加者からは「自分の町を見直す良いきっかけになった」という声が聞かれた。

3. 二日目の23日には、関西国際空港の視察研修が行われたが、熊取町は議員全員協議会の日程が入っており参加できなかった。

☆参加議会は、宮城県七里浜町議会、岐阜県岐南町議会、京都府大山崎町議会・久御山町議会、山口県和木町議会、香川県宇多津町議会、徳島県北島町議会、岡山県早島町議会、福岡県志免町議会・水巻町議会、吉富町議会、大阪府島本町議会・忠岡町議会・熊取町議会・岬町議会（オブザーバー参加）の16町議会、134名の参加者であった。

また、今回よりコンパクトタウンの規定が15㎢以下から20㎢以下に改められ、熊取町も参加できることになったが、岬町はそれを超えているためオブザーバー参加となっている。

☆今回の運営担当は田尻町議会であったが、議員が自主的に運営するサミットなので、準備には大変ご苦労頂いた。当日のみ、近隣の議会も受け付けなど、若干のお手伝いをさせていただいた。（本町からは江川議員、渡辺議員が受付係として参加）

議長会議では、次期開催地をどこにするかで議論があった。統一地方選挙があるため、どの議会も「来年はむずかしい」という意見が多く、来年は開催せず、2年後に宇多津町が引き受けることで決着した。また、会議の中で「20㎢以上であっても、人口の小さい町も参加できるようにすべき」との意見も出され、今後の検討課題とされた。

第 8 回全国コンパクトタウン議会サミットが田尻町で行われると言うことで参加してきました。自治体面積 20 平方 km 以下の町があつまり、小さくてもキラリと光り、頑張るまちが、議員手作りのサミットが開催されています。今回は、134 名の議員が参加し、小さな町の良さを見つける為、大阪観光大学名誉教授である中尾清氏より、観光の意義や観光での町づくりの話があり、例として、豊岡町のコウノトリと共生する町づくり、高知県馬路村の「ゆづ」での町づくりなどたくさん例を挙げていただきました。その後、ワールドカフェでそれぞれの町の観光資源をパネルに書き一人だけ残して他のところ移りました。私が行ったところは岐阜県岐南町でした。

岐南町は徳田ネギが有名で岐南町のマスコットキャラクターもネギになっているが、作っている農家が 5 件しかなく高級店に卸されるが、なかなか一般には広げにくく困っているということだった。私と一緒に参加したのが、京都の久御山町の方と、香川県の宇多津町の方だった。久御山町は九条ネギが有名で、新しく来た方もネギの生産に従事しているから悲観せずに頑張ってみてはと話された。熊取町も熊取コロケの原料の里いもが冬場だけなので 1 年間生産して広げていくのは難しく、同じような悩みだなど思った。

観光立国、インバウンド新・観光戦略 2020 年には訪日客 4000 万人にと言われているが、小さな町にとっては影響があるのは一部だけのような気がした。

領 収 書

一 金 44,000 円 也 4,000円 × 11名.

但し、第8回全国コンパクトタウン議会サミット参加費として

上記のとおり領収いたしました

平成 30 年 5 月 22 日

第8回全国コンパクトタウン  
議会サミット実行委員長  
田尻町議会副議長  
金田 裕治 

熊取町議会 殿